



あいにくの天気にも負けず、多くの人々が触れ合い、笑顔を交わし合った

this month HighLight

今月の注目

1

住民の心を一つに 産業文化祭

第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会選手激励会



本町駅伝チーム激励会は産業文化祭ステージ上で開かれ、チーム監督や選手から決意が述べられたあと、佐藤町長から団旗が引き渡されました。第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会は12月3日午前10時、静岡県庁前をスタートします。



瀧尾輝久 実行委員長
川根本町チーム

今年のチーム川根本町は、ユニフォームを一新。清き流れの大井川をイメージして水色のユニフォームになりました。選手たちは大井川のようにさわやかに走ってくれと期待しています。大会までの残された期間、さらにトレーニングを重ね、盤石の体制で臨んでいきたいと思ひます。皆さんの熱い声援をお待ちしています。



4健康増進施設で赤ちゃんから幼児まで参加した競争。ゴール目指して一目散5日本空手松涛連盟川根支部による空手の演舞6いつの時代も金魚すくいには子どもに人気7出店ブースで見かけた赤石太鼓保存会メンバーの笑顔



強く述べ、来場者から大きな拍手が送られました。このあと舞台上ではヤマハ音楽教室の歌とエレクトーン演奏、徳山聖母保育園のちびっこ赤石太鼓、さゆり幼稚園の鼓隊演奏とダンス、川根本町保育園による合唱、川根本町社会福祉協議会みどりの丘えまつの銭太鼓などが披露されました。休憩を挟んで午後からは大道芸人によるステージイベント、日本空手松涛連盟川根支部による空手道演武、赤石太鼓保存会の演奏、ゆるキャラ優秀作品発表などが続きました。飲食ブースでは、各種団体などによる秋の味覚や特産物が所狭しと並びました。どのブースも、雨に負けじと人だかりがでるほどのにぎわい。中には品

物が午前中で売り切れてしまうブースもありました。物販・体験ブースでは、茶手揉み実演、木工教室、交通安全協会の敏捷性テスト、ドライフラワー製作などが人気を集めました。健康増進施設で開催された「健康まつり」では、食推協コーナー、体力測定、各種測定、赤ちゃんはいはい競争などが人気を集めました。赤ちゃんはいはい競争では、ゴールで待つお母さんに向かって一生懸命はいはいしたり走ったりする愛らしい姿をみんな笑顔で見守りました。あいにくの天候となった11月6日。それでも大勢の来場者が深まりゆく秋を感じながら、繰り広げられる多彩な催しを満喫しました。

多彩な催しが来場者を魅了 産業文化祭実行委員会が主催する本年度の産業文化祭は11月6日、役場本庁舎前特設会場で開催されました。山村開発センター大会議室で本年度の町長表彰式が挙行されたあと、本庁舎前の特設ステージでは、このほどロンドンオリピック出場が内定した大村朱澄さんの報告会が開かれました。朱澄さんが来場者に向けて感謝と決意の言葉を述べると、会場からは割れんばかりの拍手と声援が送られました。続いて開かれた第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会のチーム激励会では、山本銀男監督が来場者に向け「選手たちは、暑い日も寒い日も懸命に練習に励んできました。選手の顔ぶれは毎年変わります。新しい仲間たちで、新しい記録に挑戦してきます」とあいさつしました。選手を代表して決意表明した山中裕斗さんは「これまでロード、インターバルなどきつい練習もたくさんありましたが、多くの仲間とともに、楽しく乗り越えることができました。昨年以上の記録を目指して全力で走ってきたいと思ひます」と力



1町民ギャラリーではゆるキャラ投票や文庫などの無料配布が実施された。お気に入りのゆるキャラはどれ？2ステージ上で元気いっぱいに歌を披露する子どもたち3ステージを見つめる来場者の輪は、終始笑顔であふれた